

報道関係各位

件 名 ノーラ名栗に係る施設整備等の進捗状況について

飯能市農林産物加工直売所（以下「加工直売所」という。）の愛称に決定しましたノーラ名栗につきましては、観光的視点を取り入れた、地域の自然とふれあい、人々が交流し、北欧の雰囲気を感じることができる空間を提供するとともに、名栗地区の森林を活用した観光、健康増進、教育、体験といった活動と人を結びつける、地方創生に大きく資する拠点施設とするため、令和元年度に引き続き本年度も整備を進めています。

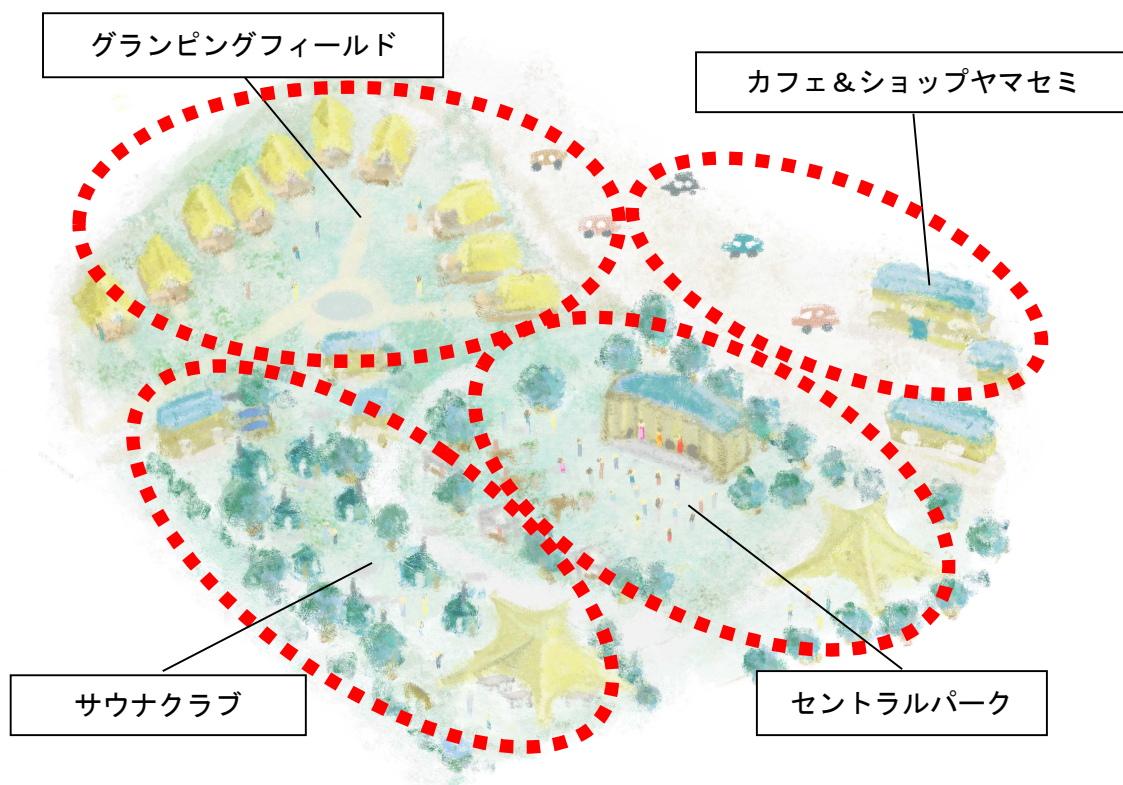
さらに整備後は、加工直売所を、賑わい、交流の場、雇用創出にとどまらず、森林に親しみ、森林を学び、森林を通じた体験ができる拠点施設とし、森林の保全・活用への新たな取組を先導的に展開するとともに、その取組を全国に発信してまいります。

つきましては、現在の施設整備等の進捗状況については次のとおりです。

なお、交流事業エリアにつきましては、本年夏の運営開始を予定しておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、今後の状況を見据え運営開始の判断をさせていただきます。

1 施設整備等の進捗状況

＜ノーラ名栗施設全体イメージと各エリアの呼称＞



(1) 令和元年度 9 月補正分

令和元年度の 9 月補正により予算化いたしました、既存の加工直売所施設の改修等に係る整備及び既存の加工直売所施設の隣接地における第一工区に係る野外ステージ建設工事、更衣室建設工事、調理施設建設工事、給排水設備工事、造成工事等につきましては、一部令和元年度 3 月議会に繰越明許費を計上いたしましたが、積雪等による遅れもなく順調に整備工事が進み、令和元年度内に全て完了いたしました。

○カフェ&ショップヤマセミ（※既存加工直売所施設）

売店内に西川材を使った木製カウンターを設置し、レジとしてだけでなく、観光コンシェルジュによる地域の観光案内などを行っていきます。また、売店内では、これまでの地域の農林産物や名栗まんじゅうなどの特産品に加え、新たな客層にも対応できるよう、昨年度末に農林中央金庫から寄贈いただきました陳列棚を活用し、北欧関連商品やアウトドアグッズなどの販売も行っていきます。

＜夜のカフェ&ショップヤマセミ＞



＜売店内の木製カウンター＞



＜北欧関連ショップ＞



＜農林中央金庫寄贈の陳列棚＞



○セントラルパーク（※野外ステージのある交流広場）

セントラルパーク内には、西川材を使用した野外ステージが設置され、大小様々な各種イベントを開催し、地域に賑わい、交流をもたらします。また、名栗の豊かな自然の中でゆったりとくつろいでいただける大型休憩用テントが設置されるほか、西川材の乾燥を行う「はしらベンチ」が設置され、訪れる方の憩いの場となるだけではなく、西川材のPRにも繋げていきます。交流事業エリアに設置された調理用施設は、セントラルパークとサウナクラブの双方のエリアのお客様にご利用いただけ、軽食やドリンクが提供される予定です。

＜セントラルパーク＞



＜大型休憩用テント・西川材はしらベンチ＞



＜調理用施設 外観＞



＜調理用施設 内部＞



○サウナクラブ（※サウナテント事業を行うエリア）

サウナクラブ内には、大小のサウナテントが配置され、サウナテントを使った北欧体験を通じた憩いと交流の場を提供していきます。また、更衣室兼シャワールームが設置され、室内には鍵付きのロッカールームも用意されており、安心してご利用いただけます。さらに大型休憩用テントも用意されており、長時間ゆったりと過ごしていただけます。

＜サウナテントの設置状況＞



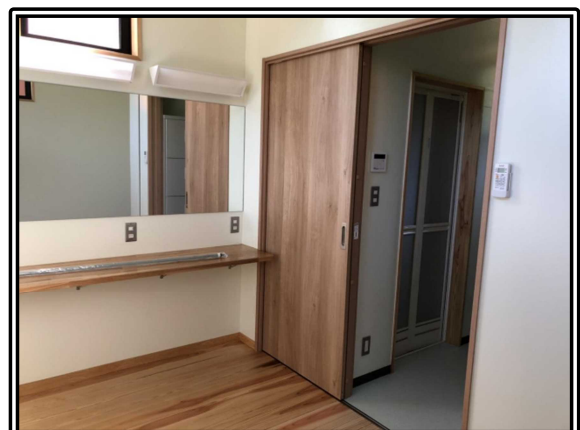
＜サウナテント 内部＞



＜更衣室 外観＞



＜更衣室 内部＞



(2) 令和元年度3月補正及び令和2年度当初予算分

令和元年度3月補正により予算化し、繰越明許とした第二工区に係る整備工事及び令和2年度当初予算分の整備工事につきましては、順次工事発注の手続きを進めています。本年度内には、加工直売所隣接地の全ての整備工事が完了する予定です。

【令和元年度3月補正内容】

総事業費 209,750 千円（第二工区）

〈内訳〉

○施工監理委託料 2,750 千円

○建物登記委託料 1,000 千円

○工事請負費 193,000 千円

（宿泊エリア整備工、管理棟設置工事、トイレ設置工事、給水設備工、排水設備工、電気設備工、木柵設置工、植栽工、歩道整備工、照明設置工、キャンプファイヤー台座工、音響設備設置工、雨水排水施設整備工等

○機械器具費 13,000 千円

【特定財源】

上記3月補正予算額に対し、特定財源として、地方創生拠点整備交付金（補助率2分の1）98,375 千円、地方創生推進交付金（補助率2分の1）6,500 千円、合計104,875 千円の交付が決定しました。

【令和2年度当初予算内容】

総事業費 23,000 千円（運営開始に必要な消耗品、既存加工直売所及び第一工区に係る未整備箇所）

〈内訳〉

○消耗品費 3,000 千円

○工事請負費 20,000 千円

（歩道整備工、植栽工、照明設置工、雨水排水工、休憩用テント等台座工、駐車場舗装工等

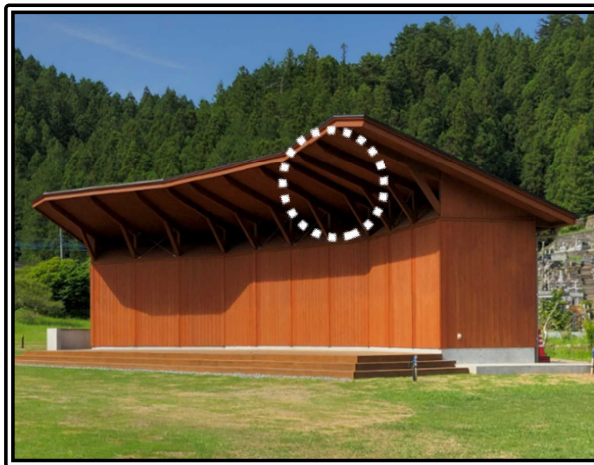
【特定財源】

上記当初予算のうち消耗品を除いた整備費に対し、特定財源として、ふるさと創造資金（補助率2分の1）10,000 千円の交付が決定しました。また、このほか令和2年度当初予算に計上されている農林産物加工直売所に係る指定管理料50,000 円に対し、地方創生推進交付金（補助率2分の1）25,000 千円の交付も決定しました。

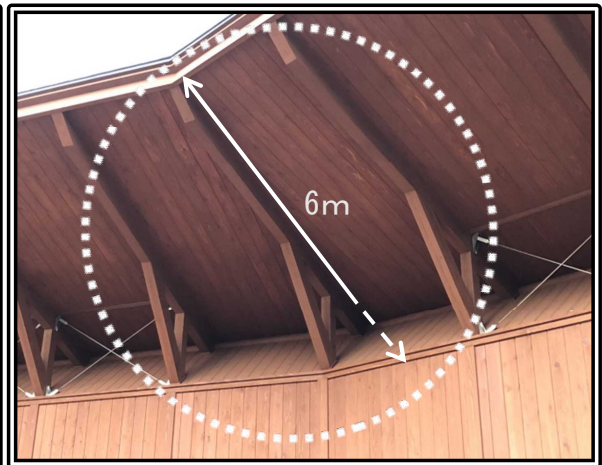
2 野外ステージにおける飯能市森林認証材プロジェクト認証の取得

野外ステージは、西川材の魅力を発信するシンボリックな構築物として整備し、その主要な構造体部分となる6mの登り梁等の構造材を中心とした木材について、「飯能市森林認証材を使用した野外ステージ構造部分C o Cプロジェクト」として、令和2年3月31日付けで森林認証の主要な認証機関の一つである一般財団法人日本ガス機器検査協会から認証を受けました。この認証は、名栗をはじめ、市内の山から木材を伐採、搬出し、製材、プレカット、そして、建設までのプロジェクトそのものを認証するもの（SGEC/PEFC C o Cプロジェクト認証）で、認証の対象となった木材が責任ある管理がなされた森林からの由来であることを意味します。今回のプロジェクト認証は、本市では飯能商工会議所新会館建設に続く2件目となるもので、今後、こうした取組を市内外に広く発信し、西川材のさらなる活用に繋げてまいります。

＜野外ステージ＞



＜6mの登り梁＞



担当者 農業振興課長 木崎 晃典
連絡先 042-973-2122